



「道に反く者、心の弱き者、定見なき者

又単なる好奇心で動く者は、禍なる哉」

この前の文章で、この世は善悪の闘いであるが、善が悪に勝つことによつてはじめて地球の進化が行われる、その真理を教えるために、要するに善が勝つためにスピリチュアリズムなどの心霊知識が、今普及してきていると説いています。だからこの「道に反く者、云々」とは、そのような霊的真理に対して、こういう態度を示す者は世を害する者だと言っているのです。

「道に反く者」とは、霊的真理を聞いても聞く耳を持たず道に背く、つまりエゴイズムのライフスタイルをとっている人達のことです。「心の弱き者」とは、ほんわか愛の人です。ほんわか愛で満足し、それが愛

だと思っている人達です。これは心弱き者です。決死の愛でないと悪には勝てない、サタンの改悛は出来ないのです。こういう人達が今非常に多いのです。まっ黒な悪想念流におおわれた地球が、ただニコニコするくらいで消えるわけがないのです。消せなければ地球はダメになるのです。消すには決死の愛でないとだめなのです。私は実に、君たちはアトランティスを忘れたのかと言いたいのです。「定見なき者」とは、道を聞いても愛と奉仕でいいのか、エゴイズムがいいのか迷っている人です。こういう人も実に多いです。「単なる好奇心で動く者」とは、心霊マニアです。心霊知識が流行ったとなると沢山本を買いこんで、いろいろなセミナーに顔を出して、好奇心で動いている人です。こういう人達は、心霊によって世の中を滅ぼす者といえます。

こういうわけで、世を救うために今心霊知識が流行っているのですが、

聞く耳を持たぬ者、心弱き者、わけの分からぬ者、好奇心で動く者は禍
いなるかな、地球を滅ぼすものであるということです。

このように、今、善と悪の闘いはクライマックスにさしかかりました。
この『靈訓』の時代から百十年たち、いよいよ最後の段階にきています。
しかし、いまだ人類は目を覚ましていません。だから我々は今、早く人々
の目を覚まさせる仕事をやっているのです。